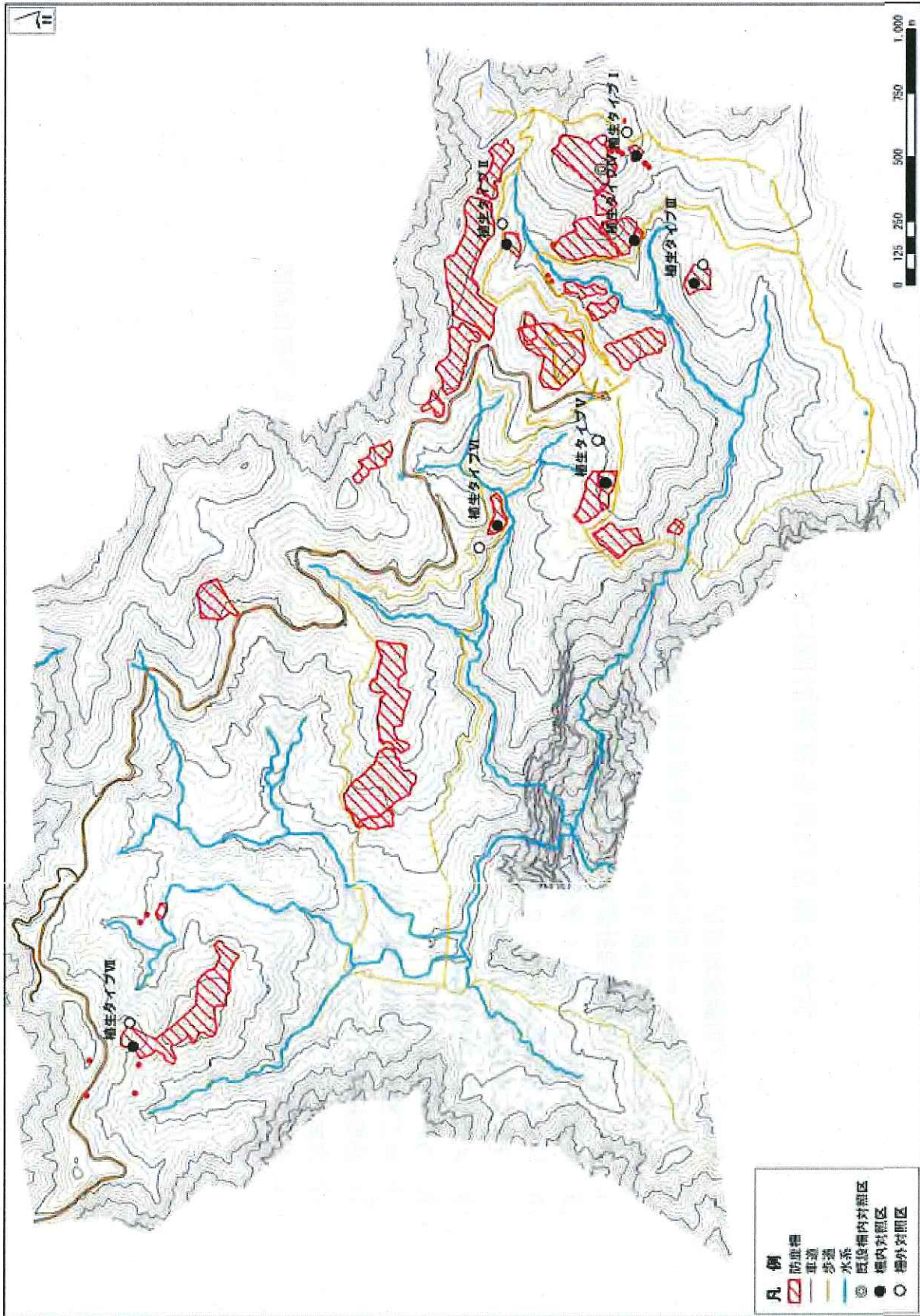
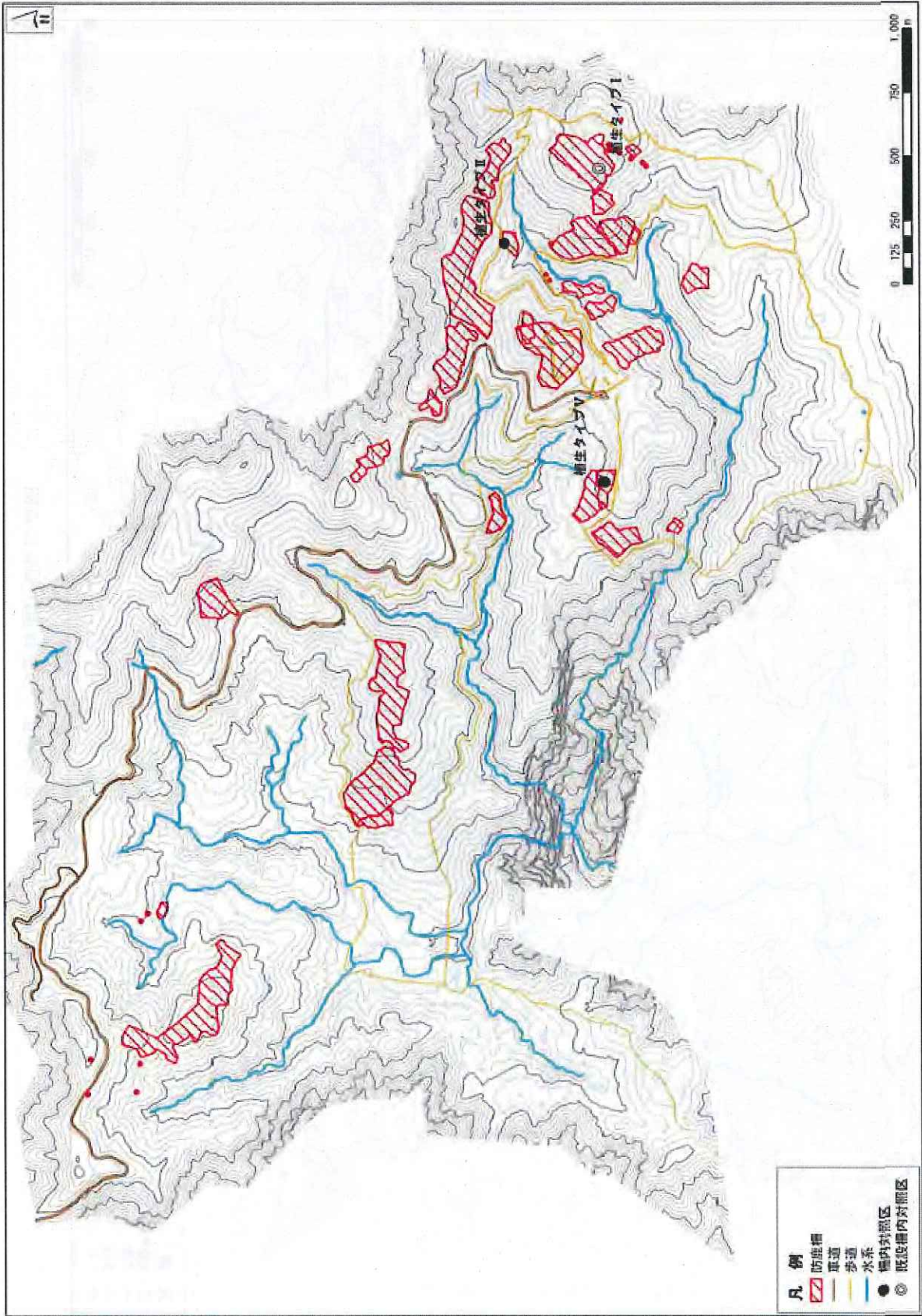


大台ヶ原自然再生推進計画に係る調査関係図表

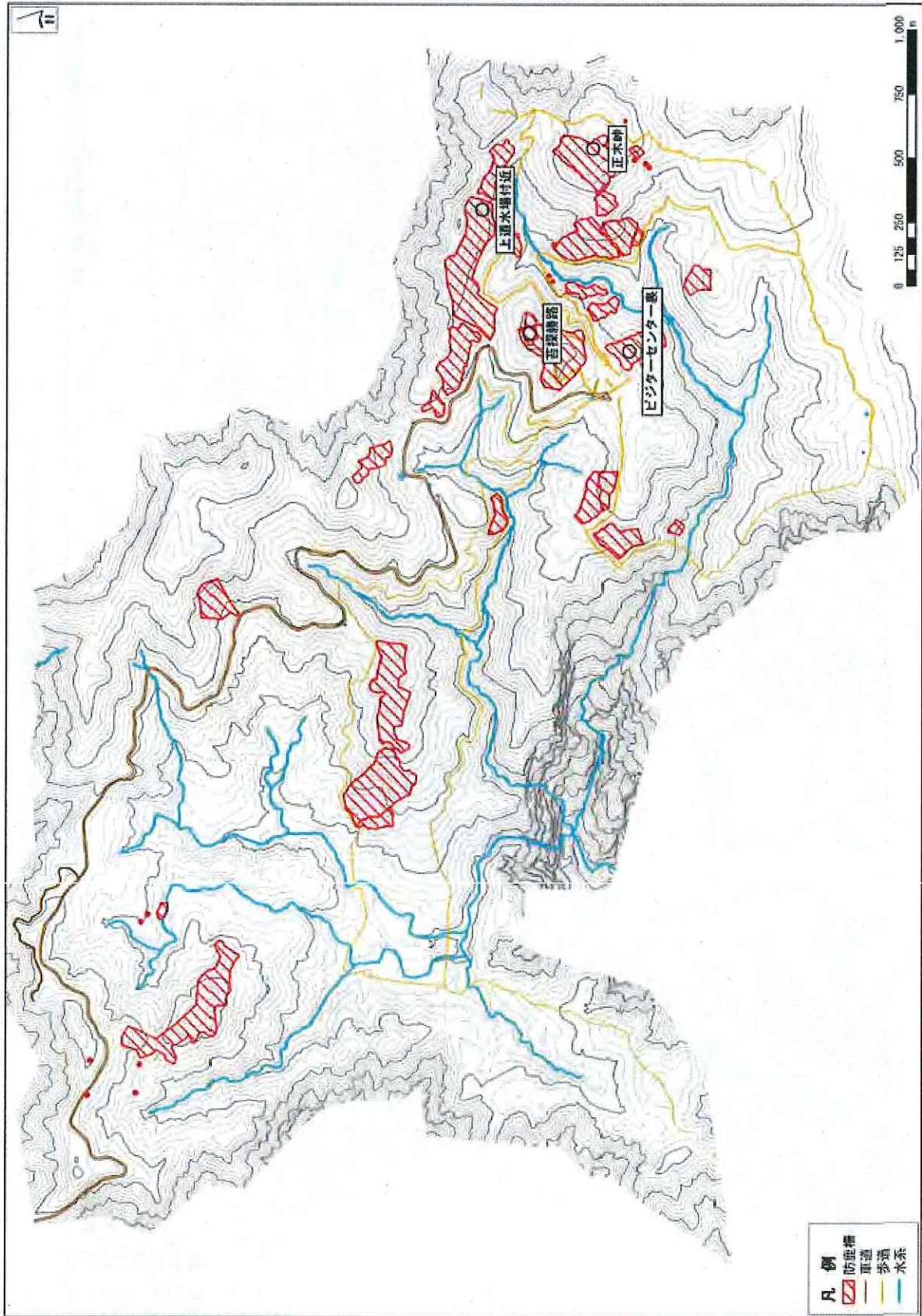
1. 植生タイプ別調査地点図
2. 森林生態系保全再生実証実験の効果確認調査地点図
3. 移植苗木の生育追跡調査地点図
4. ニホンジカ保護管理計画に基づく調査地点図
5. 防鹿柵内モニタリング調査地点図
6. 西大台植生モニタリング調査地点図
7. 定点写真撮影調査地点図
8. 剥皮状況調査地点図
9. 防鹿柵設置位置図
10. 年度別ラス巻き実施範囲図
11. 防鹿柵およびラス巻き範囲図
12. 大台ヶ原における鳥類調査位置図
13. 樹上性小型哺乳類調査地点・コウモリ類捕獲調査地点・中大型哺乳類痕跡調査位置図



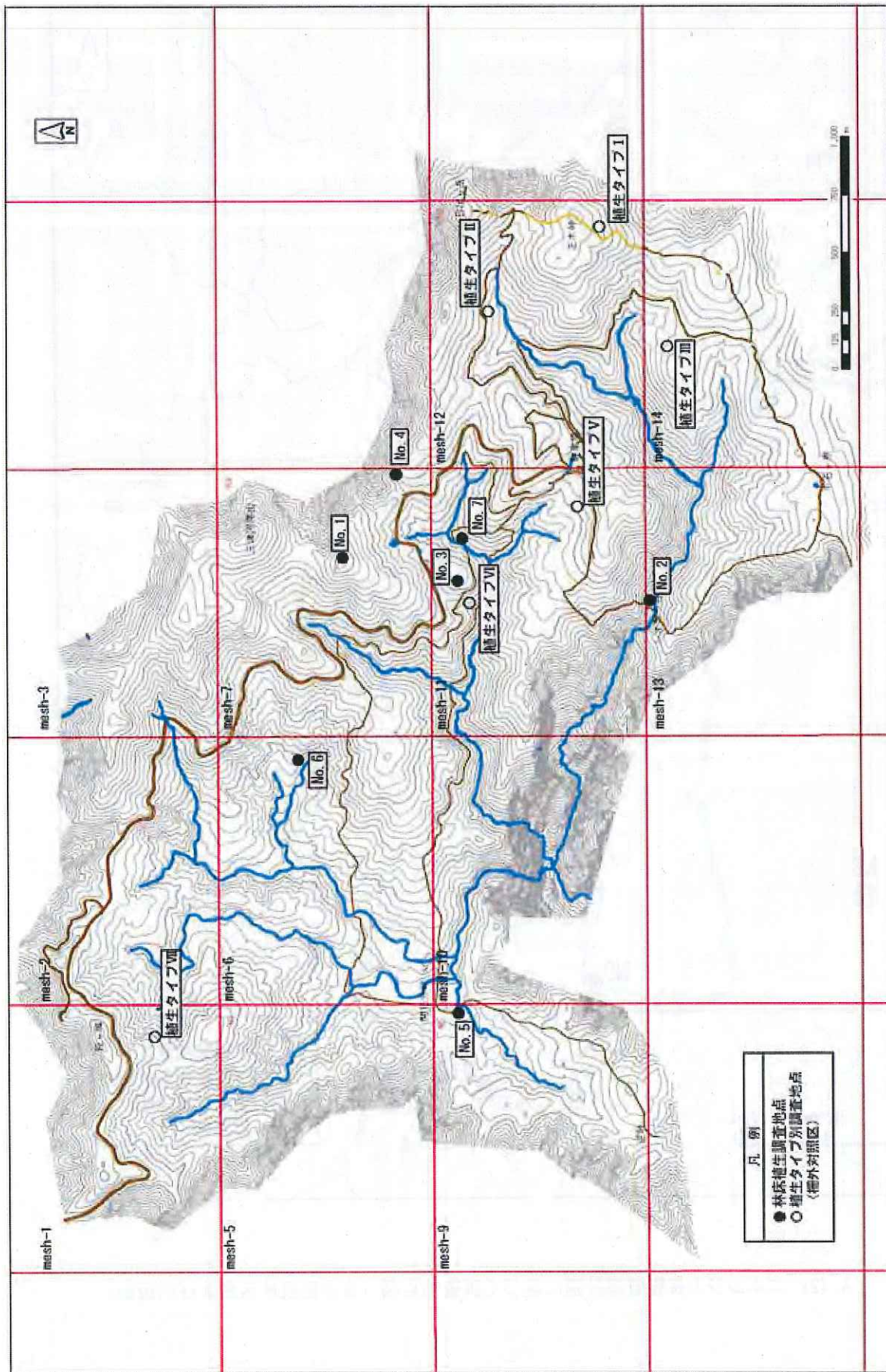
1. 植生タイプ別調査地点図



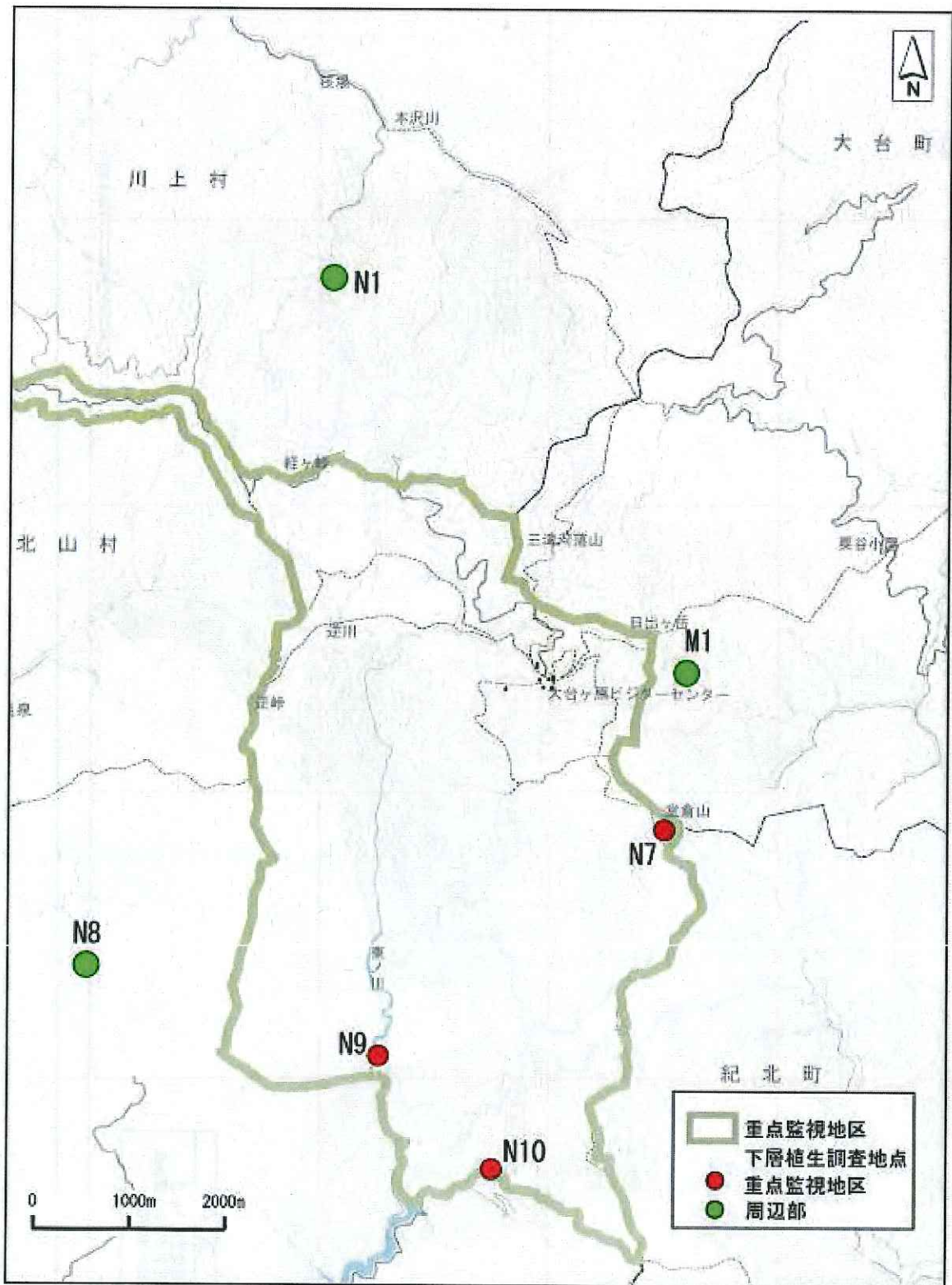
2. 森林生態系保全再生実証実験の効果確認調査地点図



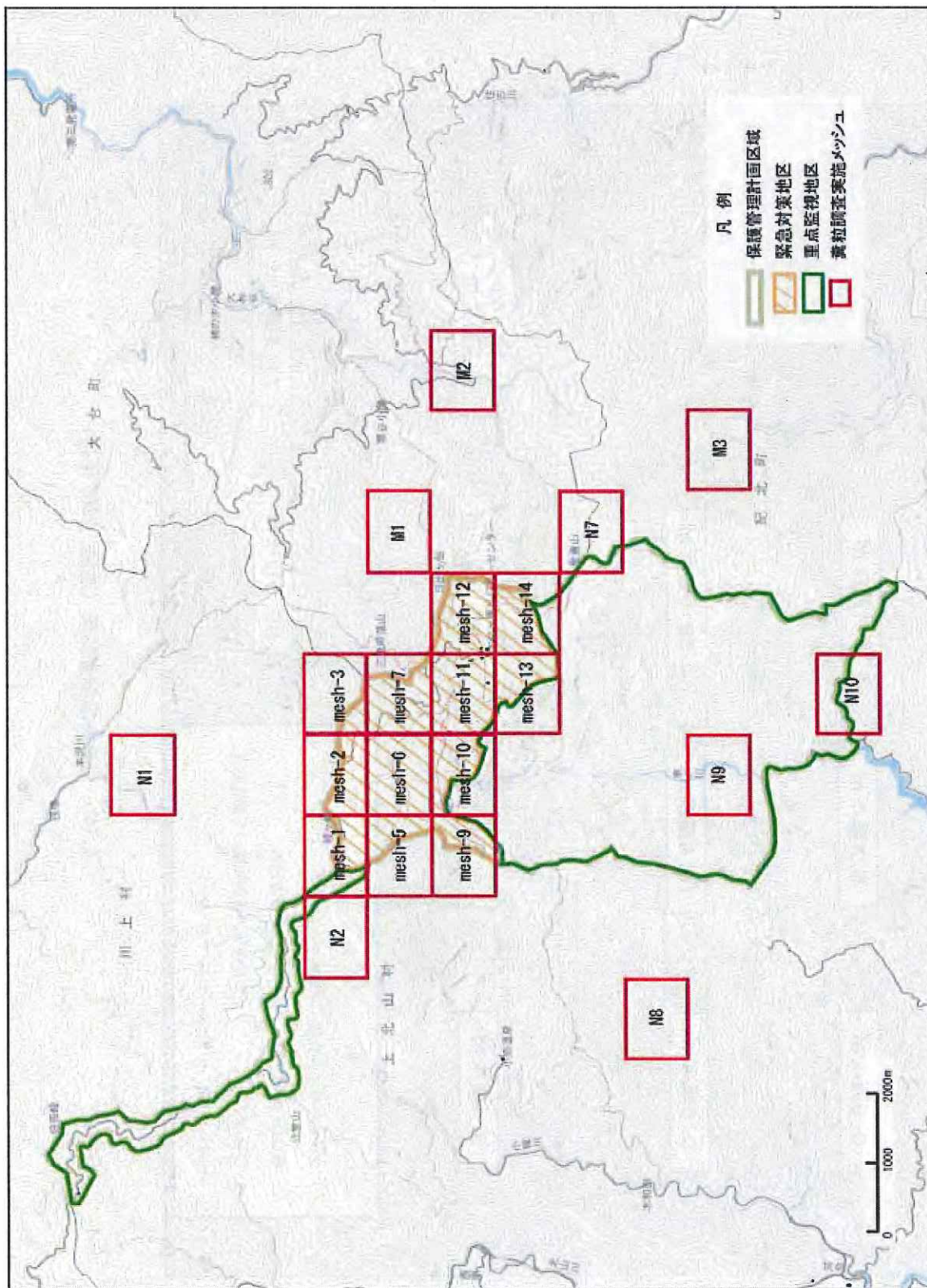
3. 移植苗木の生育追跡調査地点図



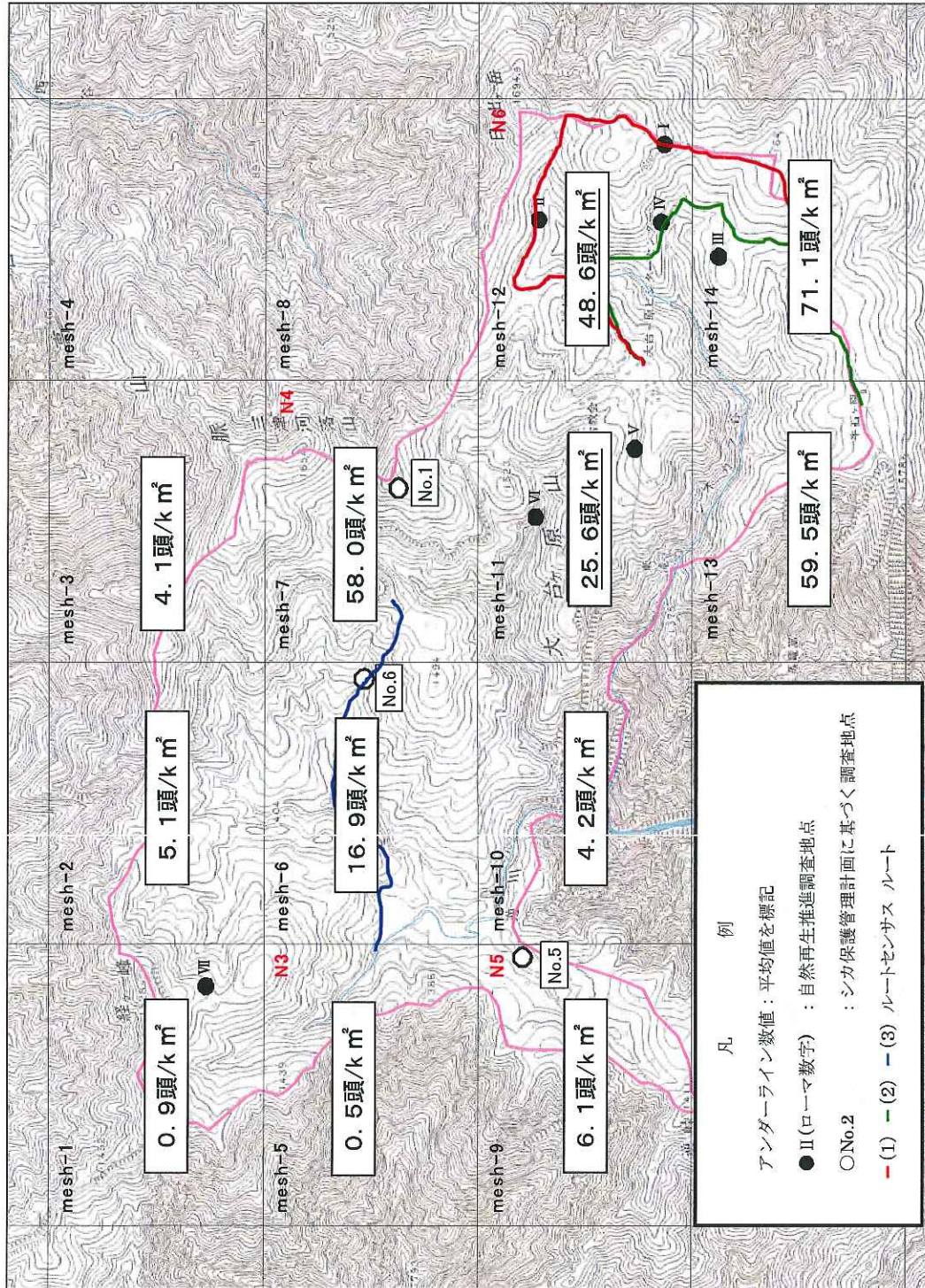
4. (1) ニホンジカ保護管理計画に基づく調査地点図 (下層植生調査地点 緊急対策地区)



4. (2) ニホンジカ保護管理計画に基づく調査地点図（重点監視地区および周辺部）



4(3). 計画区域及びその周辺における糞粒調査地メッシュ図「大ヶヶ原ニホンジカ保護管理計画書より」



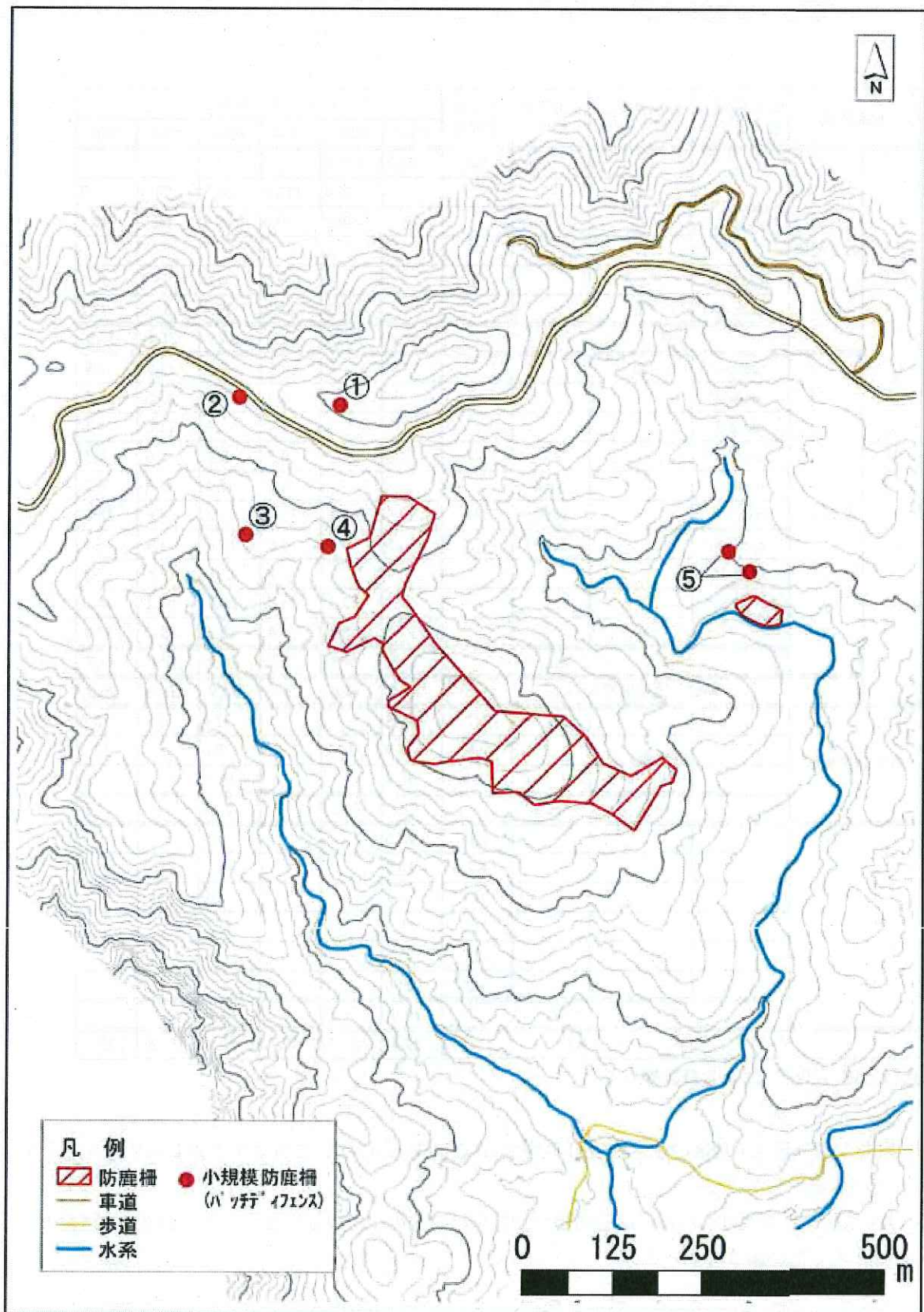
4. (4) 生息密度調査結果 (池田、2005 使用)

対象区域	シカ保護管理メッシュ	自然再生植生タイプ	シカ下層植生	シカ保護管理	生息密度 (頭/km ²)						
					2001	2003	2004	2005	2006	2007	
緊急対策地区	A1地区	mesh-12		N6	67.2	117.2					
			I			75.4	178.9	55.3	78.0	48.7	
			II			40.2	40.0	108.9	60.9	48.5	
			IV			51.7					
		mesh-13				118.7	61.5	93.5	59.5		
		mesh-14	III			43.2	29.2	32.4	52.6	71.1	
	平均					67.2	65.5	91.7	64.5	71.3	57.0
	A2地区	mesh-1	VII				4.6	0.6	3.8	12.9	0.9
		mesh-2						4.0	9.8	13.6	5.1
		mesh-3						2.7	2.3	11.0	4.1
		mesh-5			N3	14.5	18.2	0.7	9.9	2.6	0.5
		mesh-6		No.6				6.6	66.9	15.9	16.9
		mesh-7		No.1	N4	12.9	69.7	119.9	93.2	64.6	58.0
		mesh-9		No.5	N5	11.3	15.6	4.8	18.6	11.4	6.1
		mesh-10						7.6	12.6	17.6	4.2
		mesh-11	V				92.5	23.4	29.7	48.2	34.1
			VI					8.0	4.8	12.3	32.2
	平均					12.9	34.8	17.5	25.9	23.0	14.7
	緊急対策地区平均					26.5	48.8	38.7	36.9	36.8	26.8
	重点監視地区				N7	10.5			7.9		13.4
				N9	5.9	20.2		8.6		13.2	
				N10	16.4			16.8		2.1	
平均					10.9	20.2		11.1		9.6	
周辺地区				N1	27.6			0.6			
				N2	10.9						
				N8	0.1			1.0			
				M1	38.8			78.7			
				M2	12.6						
				M3	23.6						
	平均					18.9			26.8		
全平均					19.4	46.4	38.7	31.5	36.8	23.7	

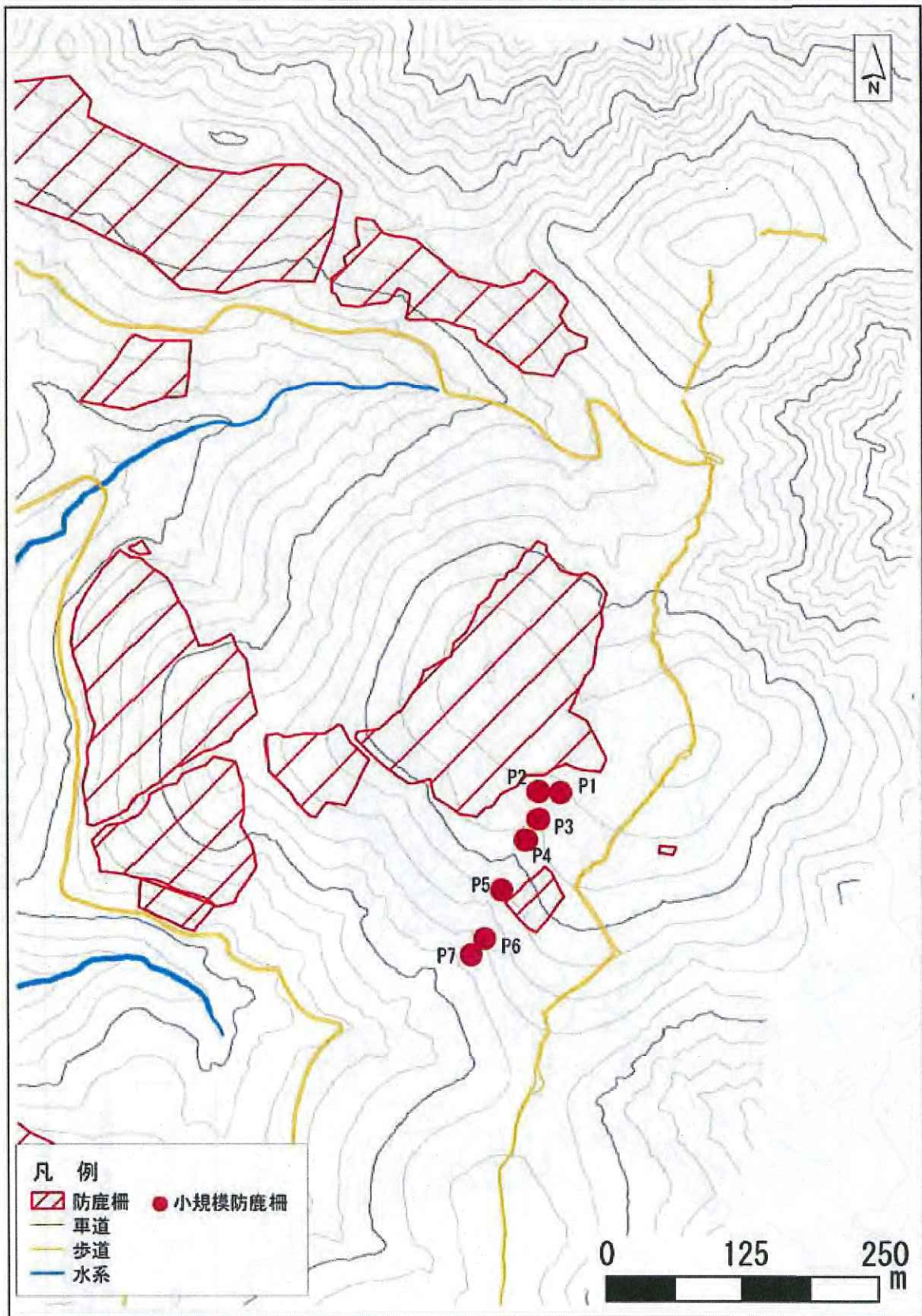
生息密度は池田（2005）による計算値

- 緊急対策地区 A1 地区の生息密度は平均で 57.0 頭/k m²(n=4)、これまでの調査の中でもっとも低い値を示した。
- A2 地区では平均 14.7 頭/k m²(n=10)で、近年の調査の中では低い値を示し、2001 年調査の結果に次ぐ低い密度であった。

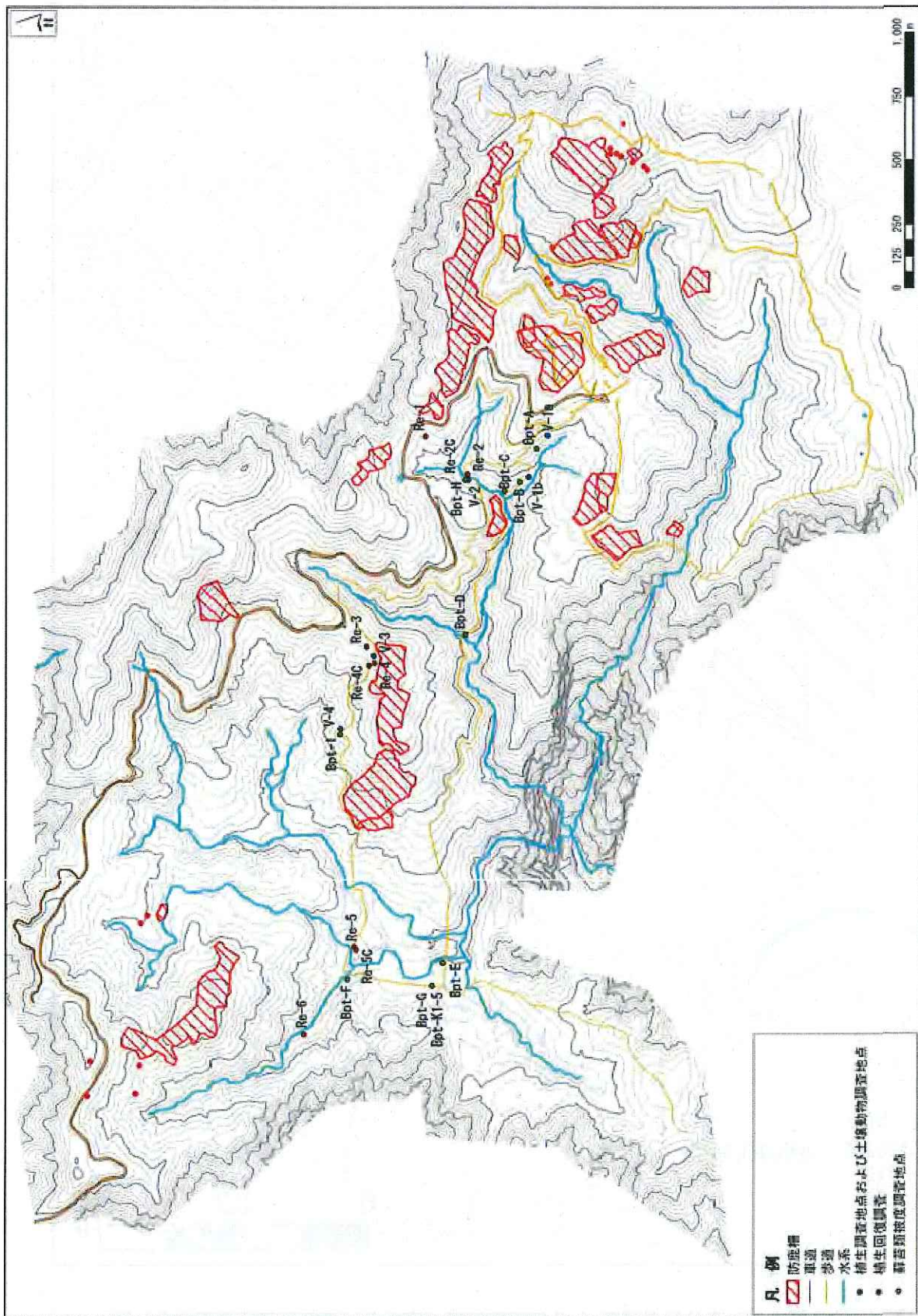
4. (5) 同一地点・メッシュにおける生息密度調査結果



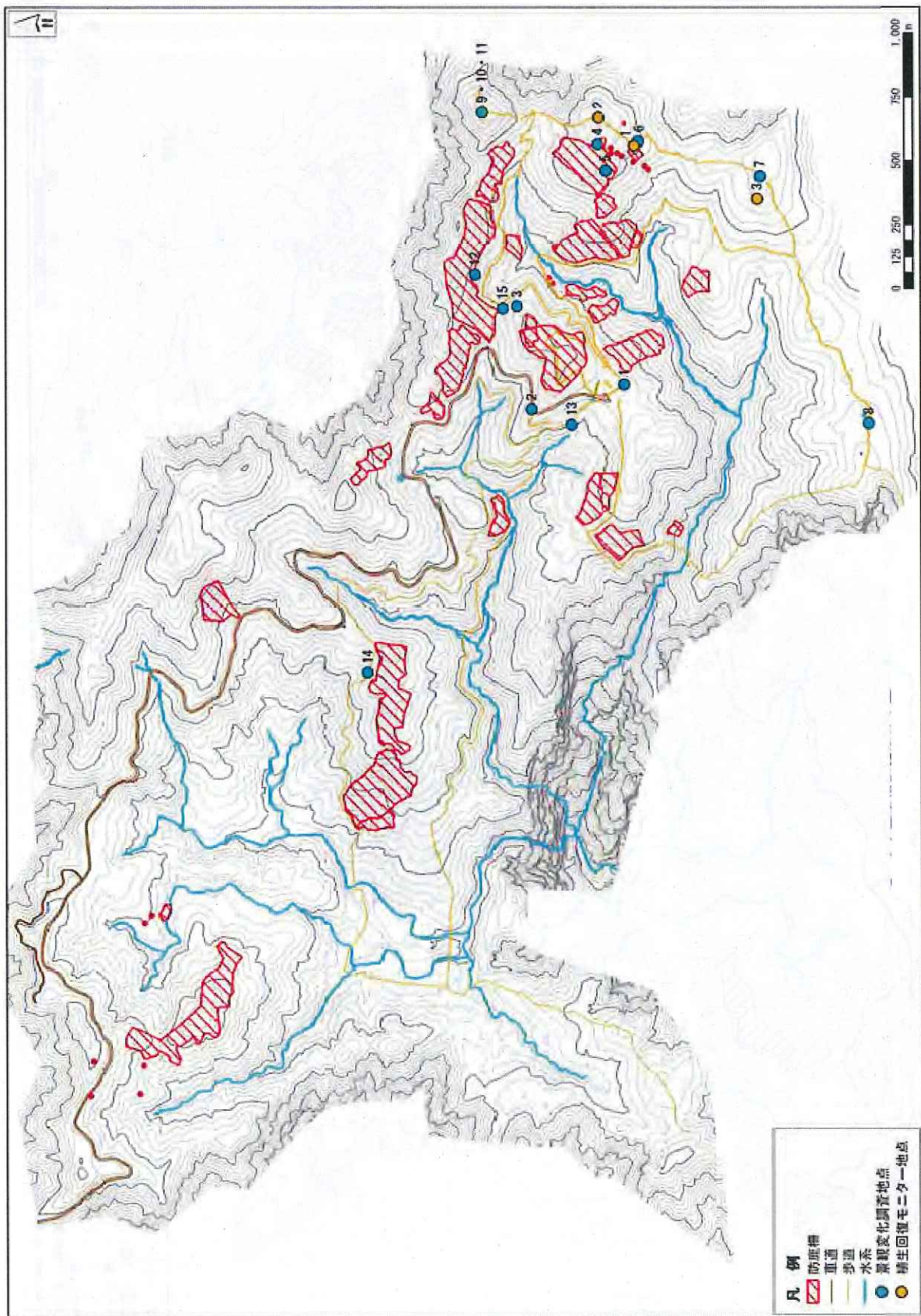
5. (1)防鹿柵内モニタリング調査（小規模防鹿柵（パッチディフェンス）の効果確認調査地点）図



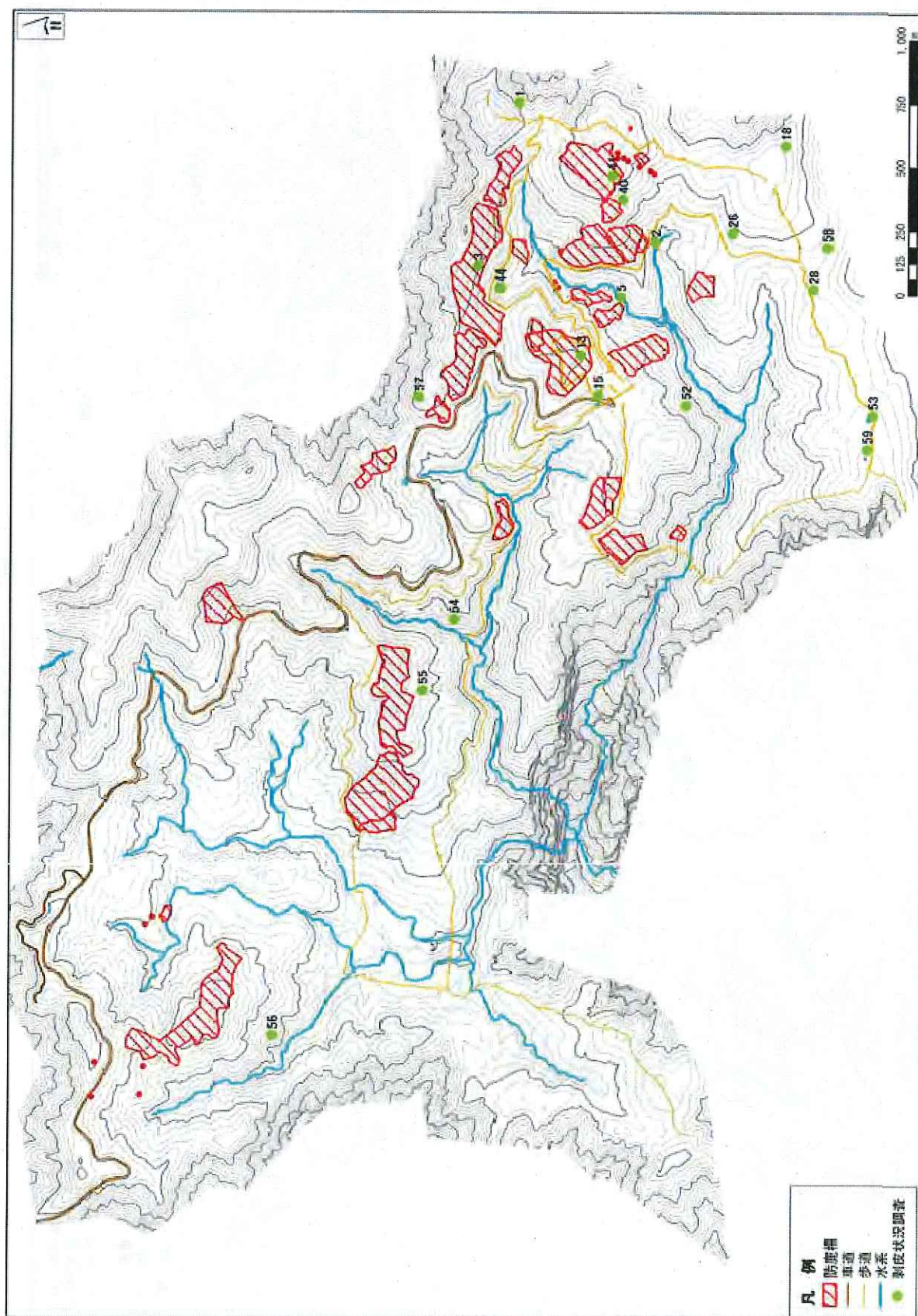
5. (1)防鹿柵内モニタリング調査（小規模防鹿柵（東大台）の効果確認調査地点）図



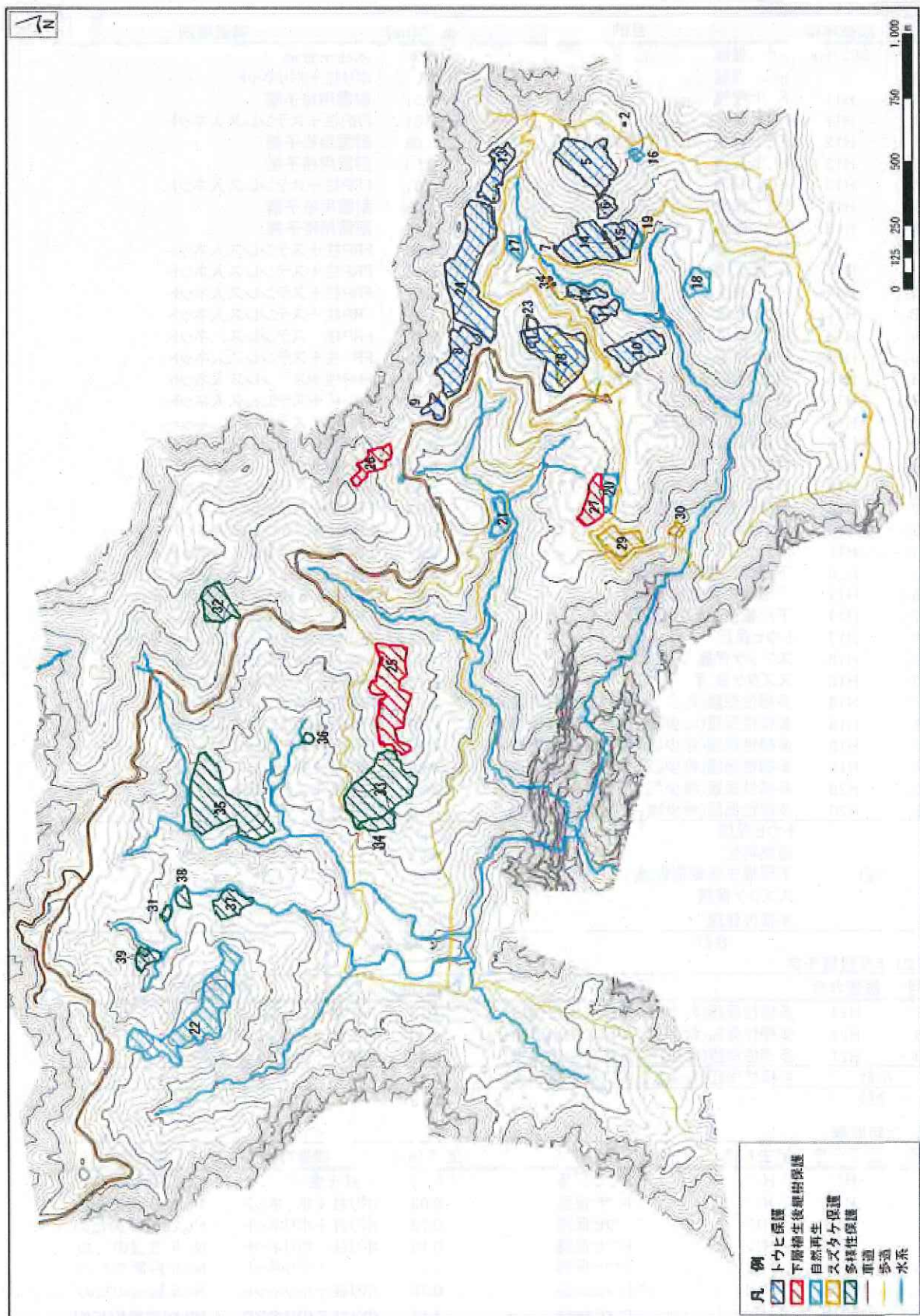
6. 西大台植生モニタリング調査地点図



7. 定点写真摄影调查地点图



8. 剝皮狀況調查地点图



9. (1) 防鹿柵設置位置図

9. (2) 設置した防鹿柵の設置概要

平成19年度第2回森林部会参考資料2(改良2008-12-05)

防鹿柵の設置概要(平成20年度まで)

現在設置している防鹿柵

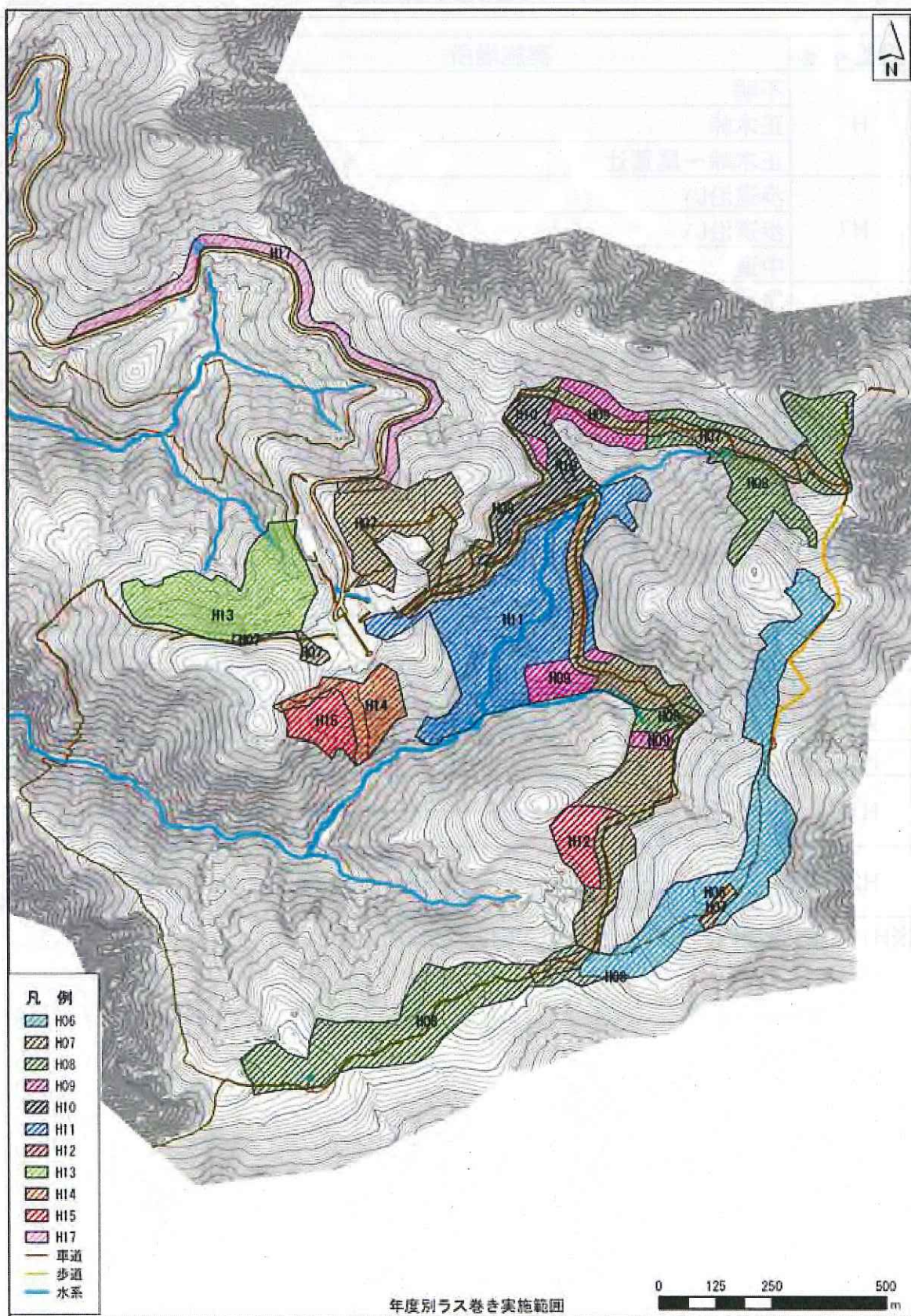
番号	設置年度	目的	面積(ha)	構造種別
1	S62・H3	トウヒ保護	0.30	木柱+金網
2	S62	トウヒ保護	0.01	ポリ柱+ポリネット
3	H11	トウヒ保護	0.01	耐雪用格子柵
4	H11	トウヒ保護	0.01	FRP柱+ステンレス入ネット
5	H12	トウヒ保護(タイプI(既設))	3.08	耐雪用格子柵
6	H12	トウヒ保護	0.50	耐雪用格子柵
7	H13	トウヒ保護	0.01	FRP柱+ステンレス入ネット
8	H13	トウヒ保護	2.28	耐雪用格子柵
9	H13	トウヒ保護	0.42	耐雪用格子柵
10	H14	トウヒ保護	1.98	FRP柱+ステンレス入ネット
11	H14	トウヒ保護	0.59	FRP柱+ステンレス入ネット
12	H14	トウヒ保護	0.57	FRP柱+ステンレス入ネット
13	H14	トウヒ保護	1.37	FRP柱+ステンレス入ネット
14	H14	トウヒ保護	2.49	FRP柱+ステンレス入ネット
15	H14	トウヒ保護	1.23	FRP柱+ステンレス入ネット
16	H15	自然再生(タイプI(新設))	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
17	H15	自然再生(タイプII)	0.43	FRP柱+ステンレス入ネット
18	H15	自然再生(タイプIII)	0.85	FRP柱+ステンレス入ネット
19	H15	自然再生(タイプIV)	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
20	H15	自然再生(タイプV)	0.63	FRP柱+ステンレス入ネット
21	H15	自然再生(タイプVI)	0.65	FRP柱+ステンレス入ネット
22	H15	自然再生(タイプVII)	5.62	FRP柱+ステンレス入ネット
23	H15	トウヒ保護	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
24	H15	トウヒ保護	6.02	FRP柱+ステンレス入ネット
25	H16	下層植生後継樹保護	4.00	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
26	H17	下層植生後継樹保護	1.02	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
27	H17	下層植生後継樹保護	1.22	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
28	H17	トウヒ保護	4.26	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
29	H18	スズタケ保護	1.57	FRP柱+ステンレス入ネット
30	H18	スズタケ保護	0.15	FRP柱+ステンレス入ネット
31	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
32	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.48	FRP柱+ステンレス入ネット
33	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	4.63	FRP柱+ステンレス入ネット
34	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.85	FRP柱+ステンレス入ネット
35	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	5.99	FRP柱+ステンレス入ネット
36	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.16	FRP柱+ステンレス入ネット
		トウヒ保護	25.31	
		自然再生	8.52	
小計		下層植生後継樹保護	6.25	
		スズタケ保護	1.72	
		多様性保護	13.28	
		合計	55.08	

平成21年度設置予定

番号	設置年度	目的	面積(ha)	構造種別
37	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.13	FRP柱+ステンレス入ネット
38	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.49	FRP柱+ステンレス入ネット
39	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.51	FRP柱+ステンレス入ネット
小計		多様性保護(希少種、多様な生息環境)	2.13	
合計			2.13	

撤去した防鹿柵

番号	設置年度	撤去年度	目的	面積(ha)	構造種別	撤去理由
R1	H1	H12	トウヒ保護	0.14	木柱+金網	No.5設置のため
R2	H4	H17	トウヒ保護	0.03	ポリ柱+ポリネット	No.28設置のため
R3	H5	H17	トウヒ保護	0.13	ポリ柱+ポリネット	No.28設置のため
R4	H5	H12	トウヒ保護	0.18	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
R5	H7・8	H12	トウヒ保護	0.56	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
R6	H7・8	H12	トウヒ保護	0.78	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
R7	H8-10	H15	トウヒ保護	7.17	ポリ柱+ポリネット	No.23設置のため
小計			トウヒ保護	9.00		
合計				9.00		



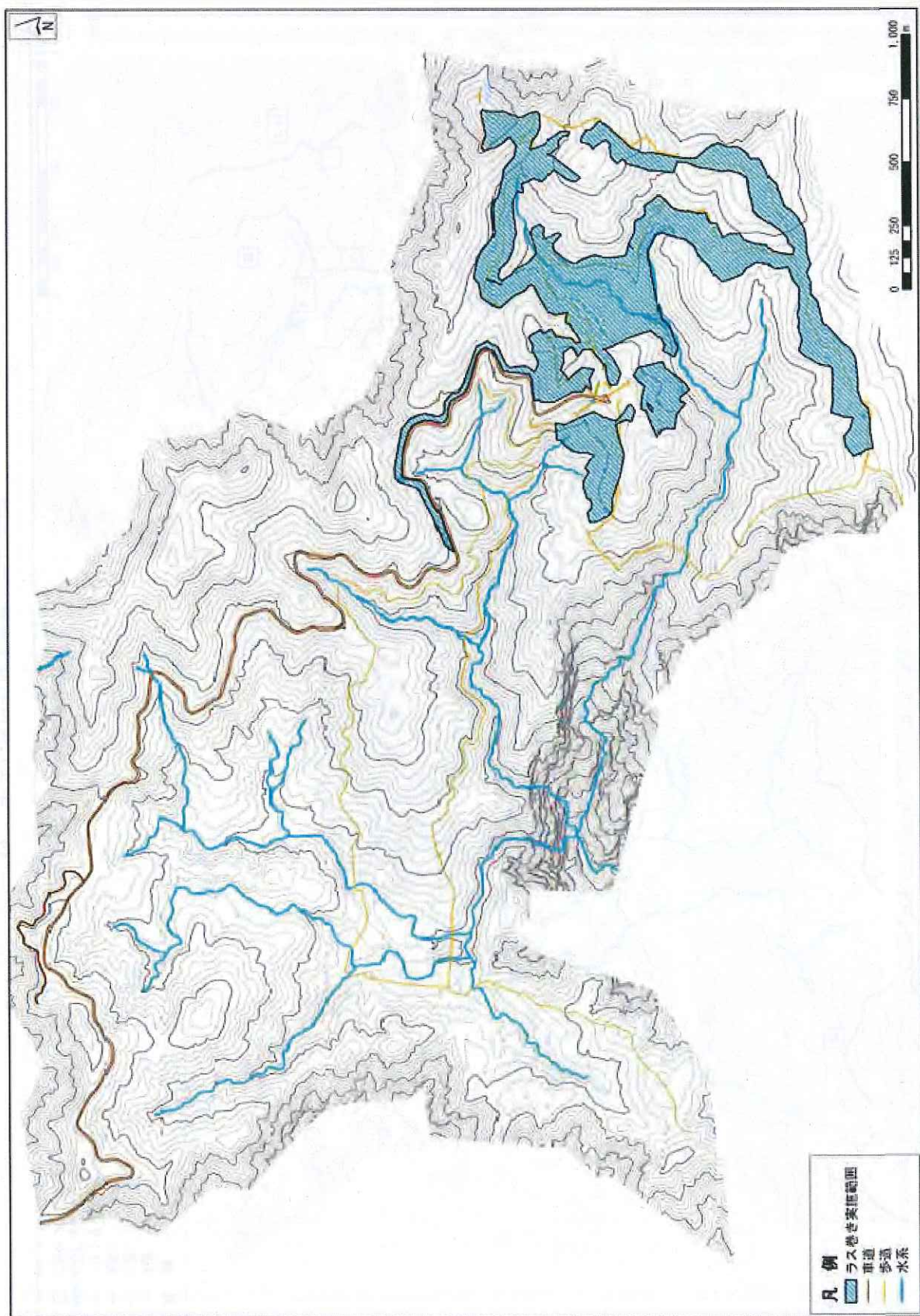
10. (1) 年度別ラス巻き実施範囲図

10. (2) ラス巻き実施場所の概要

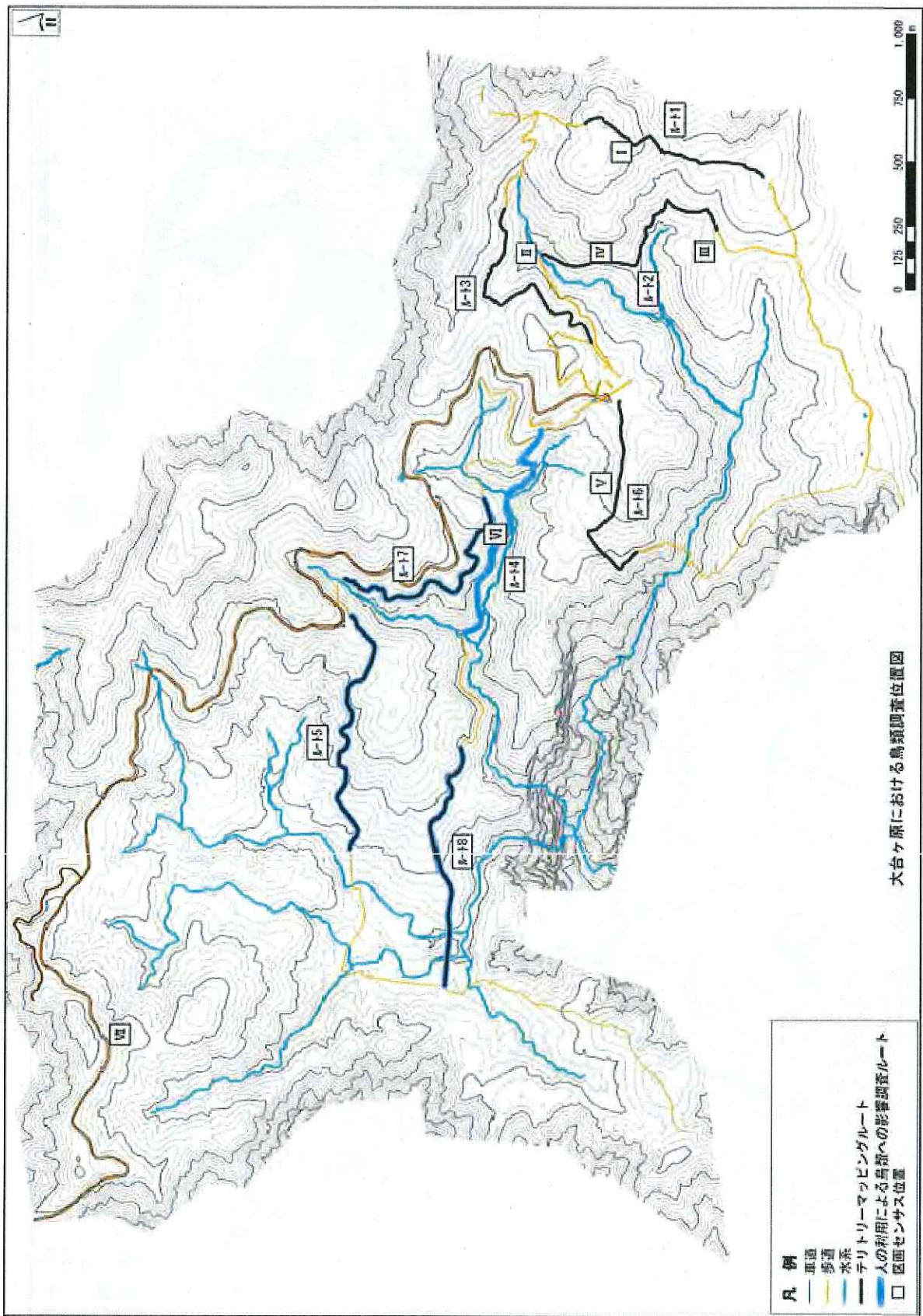
設置年度	実施場所	本数
H6	不明	300
	正木峠	910
	正木峠～尾鷲辻	840
H7	歩道沿い	300
	歩道沿い	710
	中道	1,280
H8	尾鷲辻～牛石方向	1,200
	日出ヶ岳周辺	530
	4ヶ所(巴、中道中央、尾鷲辻、牛石)	415
H9	3ヶ所(巴、中道中央(2ヶ所))	1,880
	2ヶ所(巴、上道と中道の間部分)	250
H10	上道と中道の間部分(一部ナイロンネット含む)	1,877
H11	ビクターセンター下	1,300
	中道コンクリート橋付近	1,700
	コンクリート橋付近	1,000
H12	シナノキの大木近く(日出ヶ岳)+尾鷲辻付近	4,000
H13	大台教会下側	2,915
H14	駐車場下	3,023
H15	駐車場下	3,000
H17	ドライブウェイ沿い	3,000
H19	中道沿い(巻き直し)	974
	中道沿い(新設)	799
H20	中道沿い(巻き直し)	2,889
	中道沿い(新設)	1,315

36,407

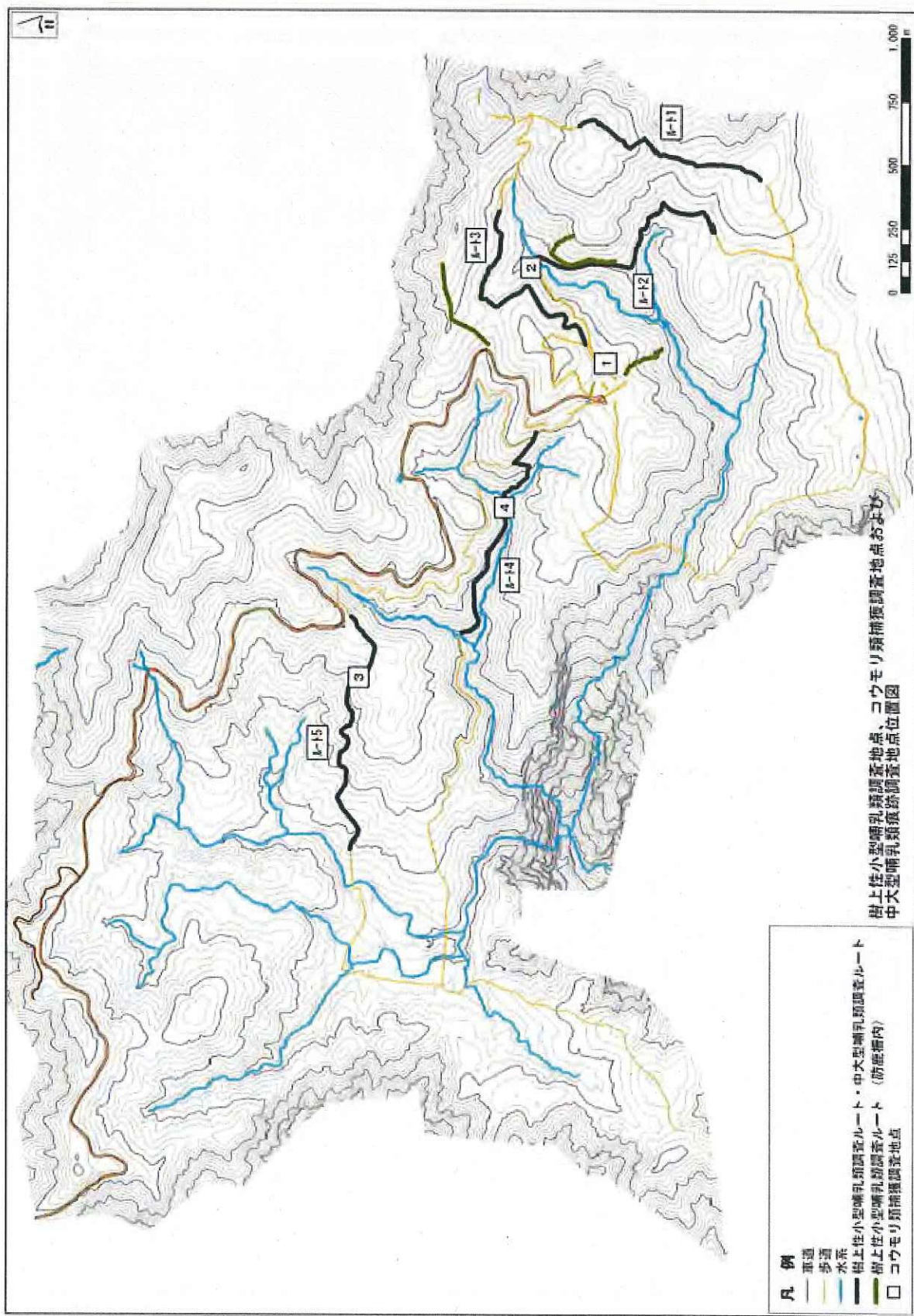
※H18に防鹿柵内のラス巻きについては撤去した。



11. 防塵柵およびラス巻き実施範囲図



12. 大台ヶ原における鳥類調査位置図



13. 樹上性小型哺乳類調査地点・コウモリ類捕獲調査地点・中大型哺乳類痕跡調査位置図